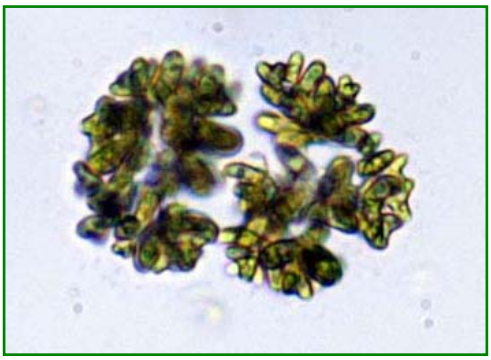
瀬田川プランクトン調査結果速報

～第24報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
生物圏担当
平成20年9月8日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



その他の緑藻
(Dimorphococcus lunatus)
（ディモルフォコックス）
緑藻綱

各細胞は楕円球形および心臓形であり、
32～64個の細胞よりなる群体を形成する。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris
（ハネウデワムシ）
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が
4ヶ所付いている。
前部に2本の触角がある。

コメント
植物プランクトンは、先週に引き続き緑藻に属するディモルフォコックス（その他の緑藻）が多く計数され優占種となったが、他の種類は少なかった。動物プランクトンは、ハネウデワムシが80個体/L計数され優占種となったが、毎年この時期には動物プランクトンは減少傾向を示している。ピコ植物プランクトンは深赤色11,000細胞/ml、黄燈色27,000細胞/mlで合計38,000細胞/mlであり、先週より増加した。

2.見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

（1）動物プランクトン

第　1　優　占　種		個体数（個体／l）
輪虫類	*Polyarthra vulgaris*	80

第　2　優　占　種		個体数（個体／l）
輪虫類	*Trichocerca* sp.	40

＊個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

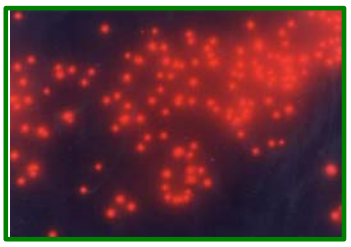
滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
生物圏担当

平成20年9月8日　　第24報

（2）植物プランクトン

（綱） 種　　名		細胞数（群体数）	数	体積
（珪）	*Aulacoseira granulata*	200	○	◎
（珪）	*Navicula* sp.	10		
（珪）	*Nitzschia* sp.	20		
（褐）	*Cryptomonas* sp.	60		○
（褐）	*Rhodomonas* sp.	20		
（緑）	*Chlamydomonas* sp.	10		
（緑）	*Planktosphaeria* sp.	50		
（緑）	*Oocystis solitaria*	20		
（緑）	*Scenedesmus* sp.	40		
（緑）	その他の緑藻	5900	◎	
（藍）	藍藻綱	0	0.0	0.0
（黄）	黄緑藻綱	0	0.0	0.0
（黄鞭）	黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
（珪）	珪藻綱	230	3.6	66.3
（渦）	渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
（褐）	褐色鞭毛藻綱	80	1.3	22.7
（み）	みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
（緑）	緑藻綱	6020	95.1	11.0
（他）	その他のプランクトン	0	0.0	0.0
	総　細　胞　数	6330	総体積（μm^3）	4.64E+05
	種　類　数	10		

注1）細胞数の単位は（細胞／ml）
　　ただし＊印の種は群体数（群体／ml）
注2）優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
　　数字は各綱ごとの占有率（単位：%）
注3）細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
　　試験的に推定した概算値である。



ピコ植物プランクトン
1,000倍G励起で撮影

（3）見つかったピコ植物プランクトンとその数（細胞数）

ピコ植物プランクトン数		9月8日　細胞数／ml
藍藻 類	*Synechococcus* sp.	38,000

注1） プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2～2μm（1μmは1mmの1,000分の1）の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。